

BMW0036 (E36/38/39/Z-3)

エアバック装着車用 取り付け説明書

装着前に必ずお読み下さい。

- 1、運転席エアバック（以下：SRS）を取り外しますと助手席、サイドSRSの衝突時の作動は推測出来ません。
- 2、SRS装着車には任意保険加入時に割引料金が自動的に適用されている場合があります。ステアリング交換時には必ず保険会社に確認して下さい。
- 3、統制品は2ピース構造になっております、上部と下部はボルトで固定されています。工場出荷時に規定のトルクで締め付けてあります、絶対に緩めないで下さい。

取り付けに必要な工具

ソケットレンチ 16mm ビニールテープ

装着手順

1、作業開始準備



装着前にタイヤとステアリングを直進状態にして下さい。

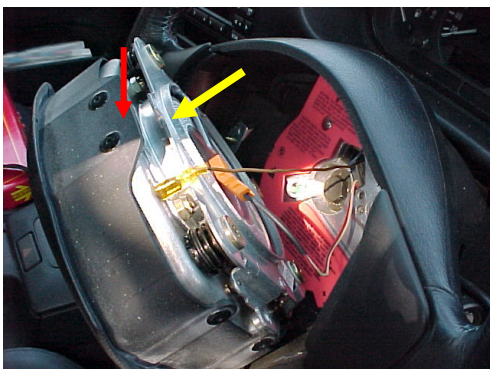
- 2、バッテリーの(+)端子を外して下さい。(作業が完全に終わるまで絶対に端子を接続しないで下さい。)

3、純正ステアリングの取り外し方法



純正ステアリングホイールの裏側2ヶ所の穴からトルクス (T30) を使用してボルトを緩めて下さい。
(写真は違う車種ですが同様です。)

4、SRSユニットの取り外し



SRS本体モジュールを外し、裏側のSRSソケットとホーン用配線を外して下さい。
1999/10以降の車はSRSソケットが2ヶ所あります

！ 取り外したSRS本体には絶対に電気を流さないで下さい。(テスター等も含む)



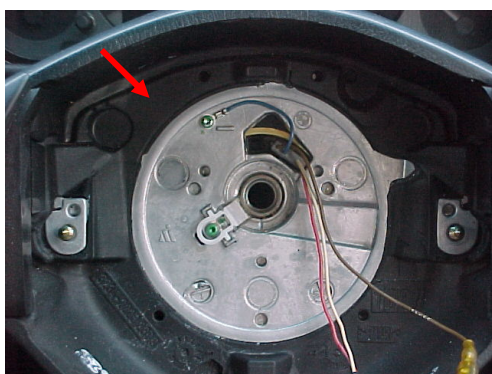
このタイプの場合はタイプ別説明 1
に進んで下さい。

5、コーションプレートの取り外し



赤色のコーションプレートを外
して下さい。

6、アースコードの取り外し

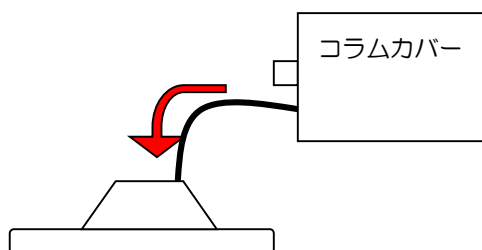
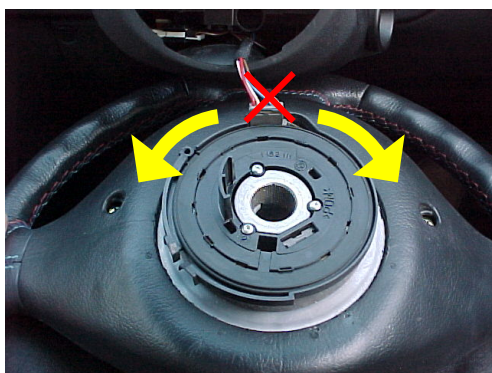


アース線青色又は茶色をトルクスレンチ
(T10) で外して下さい。

7、ステアリングの取り外し

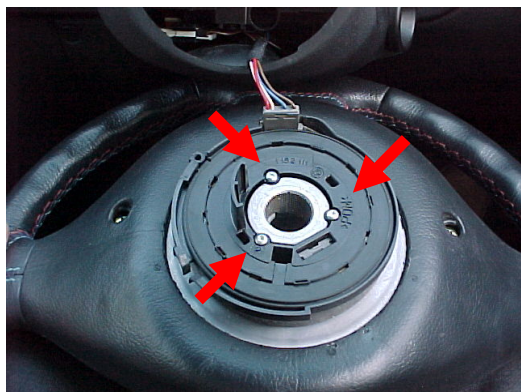
センターボルトを 16mmソケットで取り外し、ステアリングを外して下さい。

8、注意事項



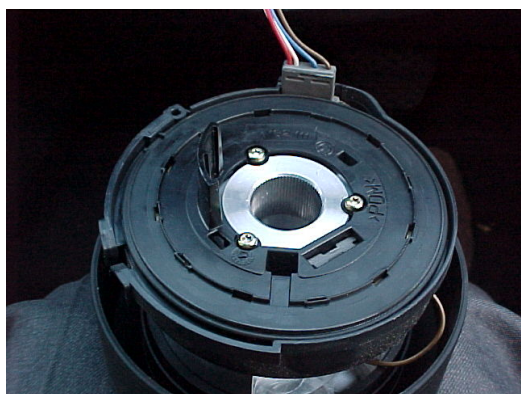
車体側スパイラルは絶対に回さないで下さい、(左右の回転数が決まっています)又車体側と繋がって
いるハーネスは外さないで下さい。

9、スパイラルの取り外し



スパイラルを止めている3本のボルトをトルクスレンチ T10 にて外して下さい。
この時スパイラルを回さない様にして下さい。

10、スパイラルの取り付け

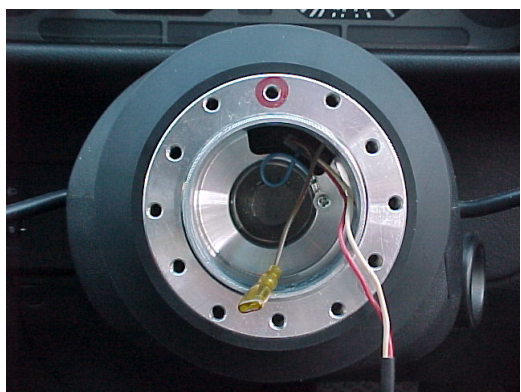


コラム側

スパイラルから出ているハーネスをボスの穴から中へ通し、ボスのトップマークを手前にして裏返しスパイラルをボスに付け直して下さい。

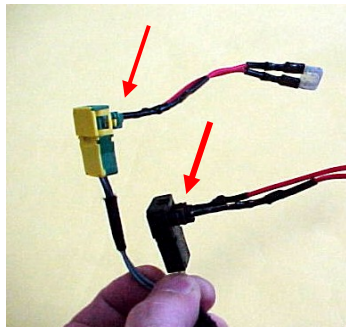
シート側

11、ボスの取り付け



ボスのトップマークを上にして、ボスをシャフトに挿入しセンターボルトを軽く締め NO.6 で外したアース線（青色又は茶色）を取り付けて下さい。

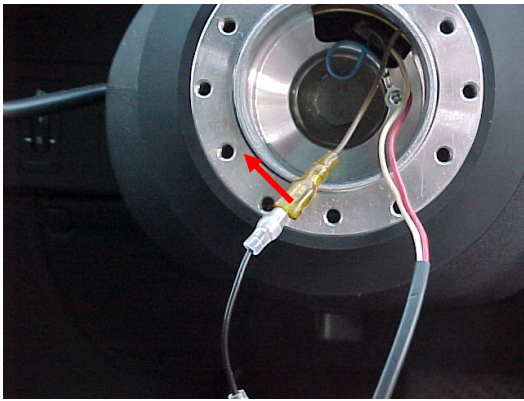
12、SRS モニターランプ対策 (タイプ別説明書 1 に進んだ方はタイプ別説明書 2 へ進んで下さい。)



1999/10～はSRSコネクタが2ヶ所ありますので2ヶ所とも同様の作業をして下さい。

付属のジャンパー線をSRSコネクタの2ヶ所の穴に挿入してビニールテープ等で外れない様に固定して下さい。ジャンパー線には極性はありません。(この線を使用しない又は接触不良ですと取り付け終了後、イグニッションキーを入れた時、モニターランプが消えません、消灯させる為にはディーラーの診断コンピューターが必要になります。)

13、配線の接続



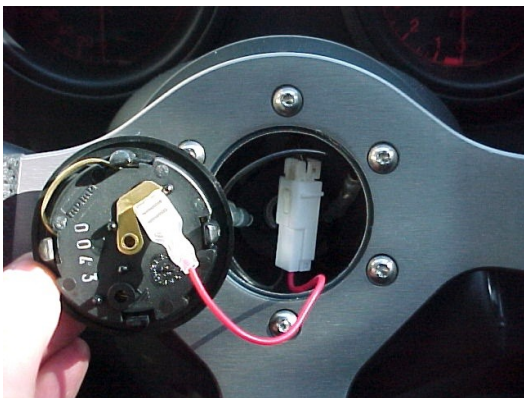
車体側から出ているホーン線の内、茶色い線に付属の端子変換ハーネスを差込みビニールテープで絶縁して下さい。

1999/10～車はこの作業は必要ありません。

14、ステアリングをボスに取り付けセンターボルトを規定トルクで締めて下さい。

(規定トルクは3kg/mです、強すぎますとボスのスプライン又はシャフトのスプラインを破損します。)

15、ホーンキャップ取り付け



前項で取り付けした端子変換ハーネスをホーンキャップの端子に差し込んで下さい。

2000/4～車は茶色線をそのままホーンキャップの端子に接続して下さい。

(写真は別の車種です)

15-B、ホーンキャップ取り付け (タイプ2の場合)

カプラーに接続したホーン線の内、黒線を付属のアースリングへ差し込み、赤線をホーンキャップの端子に接続して下さい。

16、作業終了



17、バッテリー端子を接続して、ウインカー、ホーンのテストをしてエンジンをかけてSRSモニターランプが消灯するのを確認して下さい。

(ホーン/ウインカー/直進状態等異常があった場合はバッテリー端子を外してから修正作業をして下さい)

取り外したSRSモジュールは純正ステアリングに取り付けた状態でSRS本体を上に向け保管して下さい。

トラブルシューティング

Q：SRSモニターランプが点灯する（消灯しない）

A：作業中イグニッションキーを入れた、ジャンパー線を装着していない、ジャンパー線の接続不良、等、

対策：ジャンパー線の接続を確認後、ディーラーの診断コンピューターで消灯して下さい。

（ジャンパー線が接続されていなかったり、接続不良だと消えません）

Q：ステアリングのTOPが出ない

A：シャフトスプラインの1山以内のズレはタイロッドで調整します。

対策：ディーラー又は整備工場で調整して下さい。

Q：ステアリングを切ると異音がする

A：ボス内のSRSコネクタが干渉している

対策：動いているカプラー等をテープ又はタイラップ等で固定して下さい

株式会社ワークスベル

株式会社ワークスベル 〒391-0011 長野県茅野市玉川 8507

TEL 0266-79-3761 FAX 0266-79-4706

Email : support@worksbell.co.jp

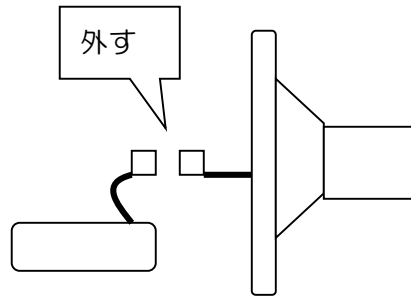
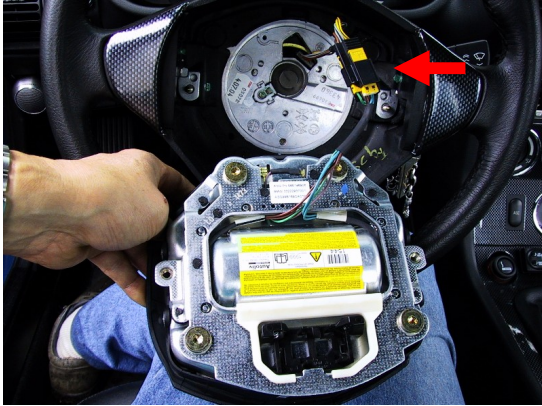
URL : <http://www.worksbell.co.jp>

BMW E36/38/39/Z-3

タイプ別説明 1

取り説 NO.3から

4、SRSユニットの取り外し



SRS本体モジュールを外し、矢印のカプラーを外して下さい。

！ 取り外したSRS本体には絶対に電気を流さないで下さい。(テスター等も含む)

取り説 NO.7 に進んで下さい

取り説 NO.12 から

9、SRS モニターランプ対策及びホーン用配線

端子番号

⑥ホーン線(一側) 茶/黒

⑤ホーン線(+側) 茶/赤

④SRS線 灰/茶

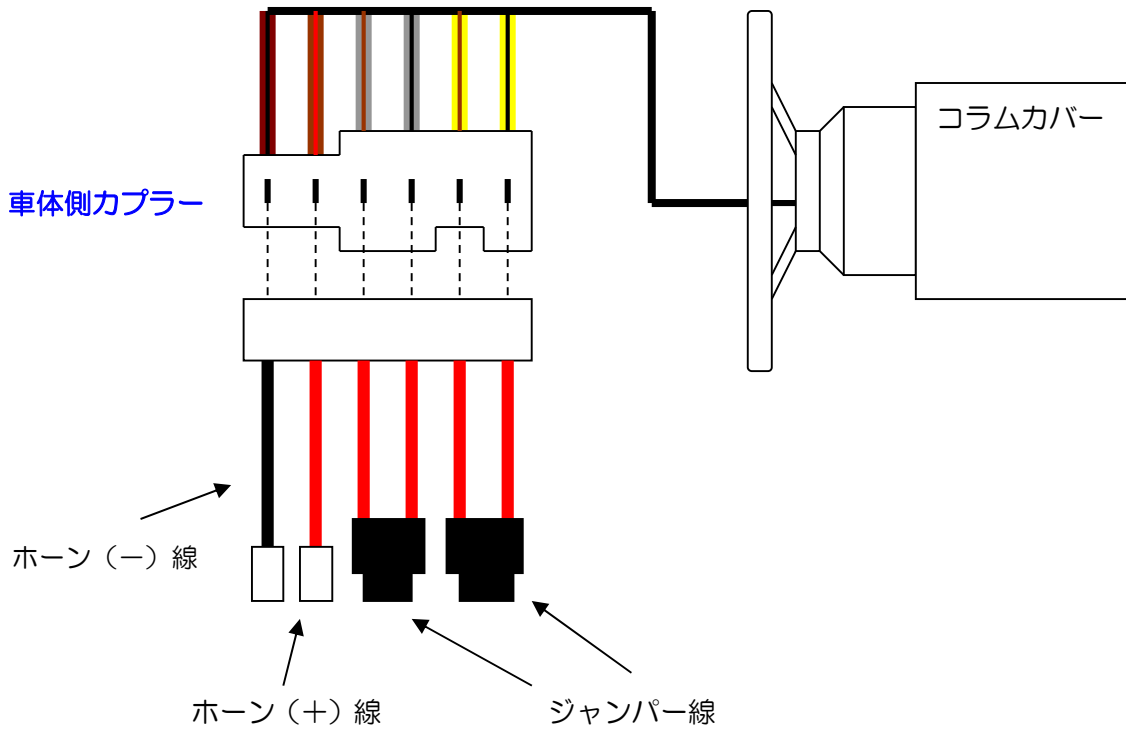
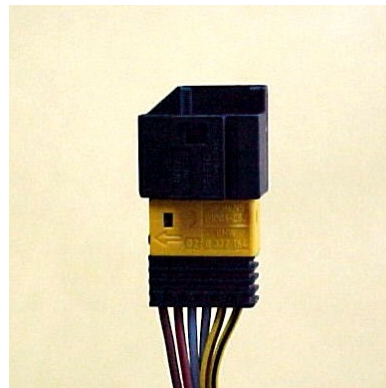
③SRS線 灰/黒

②SRS線 黄/茶

①SRS線 黄/黒

コブラーの後ろ側に番号が刻印されています。

⑥ ⑤ ④ ③ ② ①



取り説 15B へ進んで下さい。